

# 審査結果報告書

2023 年 1 月 30 日

主査 氏名 天明 康之 

副査 氏名 高山 陽子 

副査 氏名 高平 尚伸 

副査 氏名 末永 志広 

1. 申請者氏名 : DM19024 村松 匠

2. 論文テーマ :

Varied risk of developing herpes zoster among molecular targeting therapy in rheumatoid arthritis patients; a single-center study  
(分子標的治療による関節リウマチ患者の帯状疱疹発症リスクの多様性 ; 単施設研究)

3. 論文審査結果 :

申請者は、分子標的薬をはじめとする治療を行った関節リウマチ患者の帯状疱疹リスクについての検討を行った。その結果、JAK 阻害薬の投与で帯状疱疹の発症率が有意に高く、メトトレキサート単独投与と比較してメトトレキサート併用 JAK 阻害薬投与患者でも帯状疱疹の発症率が高かった。メトトレキサートを併用した CTLA4-Ig または IL-6R 阻害薬を投与された患者では帯状疱疹発症率が低かった。これらより、JAK 阻害薬が関節リウマチ患者における帯状疱疹発症の強いリスク因子であることが明らかにされた。本研究は北里大学倫理委員会の承認の下で行われ、統計処理を行った研究としてまとめられ、研究結果もよく整理されていて信頼できるものである。学位審査では、この研究成果の発表の後に、患者選択の方法、研究の手法、研究結果のとらえ方、臨床においての本研究の重要性、今後の研究目標等についての質疑応答が行われた。質問に対して申請者はしっかり応答し、本研究内容が学位論文として信頼できる研究成果であると考えた。これらから審査員全員の確認の下で本研究成果を学位論文としてふさわしいと評価した。